

## マニラ事業地ボランティア修了レポート

高田博美

私はNPO ハロハロのマニラボランティアスタッフとして約一か月間、現地のフィリピン人の学生たちに日本語を教えている日本語教室に参加しました。

初めは、ひらがなとカタカナから学習をしなければならないフィリピンの学生たちに対してどうやって日本語を教えればうまく理解してもらえるか分からず、日本語を教えることをとても難しく感じました。また、ボランティアスタッフとして日本語を教え、現地の学生たちにどうやって日本語を学ぶ楽しさを伝えることができるのかわかりませんでした。しかし、学生たちが積極的に質問をしてくれたり、日本語を話してくれたりすることによって私は日本語を教えて、学生たちが楽しんで学んでいる姿を見ることが嬉しくなりました。授業が行われる時はフィリピン人の学生たちにできるだけ授業を理解してもらいたく、身近なものを使った例文を考え一緒に声にだして読んだり、簡単な単語テストを実施したりしました。ひらがなやカタカナから始めた生徒たちが日本語を少し読めるようになったり、例文を理解したり毎回の授業で少しずつでも日本語をわかるようになっていき、現在も学び続けていることにハロハロのボランティア活動をして本当に良かったと思いました。また、授業を通して日本語という日本の文化を現地の人々に伝え、日本に興味を持ってもらうことの嬉しさを知ることが出来ました。言語が違い、文化も違う場所で日本語を教えるという体験ができて、今まで気づかなかった日本とフィリピンの違いも知りました。ハロハロの日本語教室を通して語学学習という教育の一部に触れて教育の力や大切さを学び、多くの種類や方法がある教育が人に与える影響は何かをこれからも考えていきたいと思いました。現地の学生にとって、日本語を学び、日本を知る事で新たに増えた知識や考えが将来の生き方に少しでも役に立つことを理想とし、これからも日本語教室の発展が楽しみです。短い期間でしたが、現地の学生たちと日本語教室を通して交流できたことは私にとってとても価値がありました。このように多くのことを学ばせてもらったハロハロボランティア活動に感謝し、日本語教室で得た経験や気づきを自分の将来に繋げていきたいです。本当にありがとうございました。

